

大阪樟蔭女子大学図書館報

こかげ

2012.3 第6号

C O N T E N T S

- 科学と科学的なるもの 藤村和久… 2
- 「日本人と英語」一学科による図書紹介(国際英語学科編)
藤澤良行… 3
- 貴重書紹介
与謝野晶子没後70年に寄せて 檀原みすず… 4
- お染久松心中事件—図書館で調べる 佐久間貴士… 6
- 卒業生からのMessage
国立国会図書館で働いて 今谷仁美… 7
- 学生図書委員会
選んだ本が図書館に 當山奈緒… 8
恋愛がしたくなる本 田中有由美… 10
- 西日本から子どもたちへ本を届けようネットワーク
神村朋佳… 12
- 図書館この一年 …………… 13
- 2011年度 図書館統計 …………… 14
- ベストリーダー …………… 15

「知りたがりや」

表紙写真 写真部 野中美希

科学と科学的なるもの



図書館長

ふじ

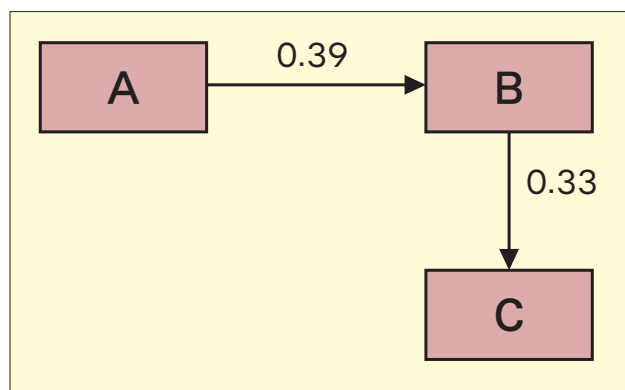
藤村 和久

(心理学部発達教育心理学科教授)

私が大学院生の時、教育関係者を対象に行われたある性格検査の講習会の講師をしたときの経験である。材料に用いた性格検査では個人の性格の特徴を類型で表わされる。その類型の一つについて解説する際に、「非行が原因で少年鑑別所に送られてきた人たちにこの検査を実施した結果、他の類型に比べて〇〇型の人が多かった」と説明したところ、ある受講者から「私の知っている男子生徒に〇〇型の人がいます。君は〇〇型なので非行を犯すから注意するようにと教えるべきでしょうか」という質問を受けた。

次の例は学術雑誌に掲載された論文に記載されたものを一部抜粋し、実際の変数名をA、B、Cに変更したものである。また、右図は研究で取り上げられた諸変数間のパス図のうち変数A、B、Cの関係を表す部分を切り取ったものである。実線の矢印は、矢印の元の変数が矢印の先の変数に及ぼす影響の程度を係数で表わしたものである。係数は-1.0~1.0の範囲の値をとる。点線の矢印は変数Aが変数Cに及ぼす直接的な影響は認められないことを表わす。この結果を著者は、「変数Aは変数Bを介して変数Cに影響を及ぼすと考えられる」と結論づけている。これは、おそらく研究仮説では変数Aの変数Cに対する直接的な影響を期待したが、実際の結果ではそれが認められず、変数Aが変数Bに対して0.39、BはCに対して0.33と、それぞれ有意な係数を示すことから上記のような解釈になったものと推察される。ここで有意とは、影響の大きさが確率的にゼロでないという意味である。ところが、AがBを介してCに及ぼす影響の度合いは $0.39 \times 0.33 = 0.1287$ であり、決して有意な影響と認識できる水準ではない。同論文ではAとCの相関係数も求めており0.17であったと報告していて、これは先のAのBを介してCへの影響とほぼ同水準である。パス図の解釈とは相容れないのである。

最初の例は、科学的に証明されたのは「非行少年たちにある性格検査を実施したところ、〇〇型が〇%、△△型が△%、……、で〇〇型が一番多かった」という事実であり、「〇〇型の人は非行を犯す」ということではない。科学的手続きと得られた結果に付与される意味が論理的に整合的



でなければならないということである。

2つ目の例は、変数A、B、Cについて科学的に調査されたデータを上図のような仮説モデルについて数学的に求められた係数の誤った解釈例である。専門家の審査を経た科学論文という、いわば科学的な装いを施された誤った知識が結果的に産み出されたことになる。

また、たとえ科学的方法から得られた結果に誤りがなかったとしても、それはあくまでも科学的方法と結果の解釈の間の論理的整合性を意味するのであって、その結果が他の基準に照らし合わせて妥当であるかどうかとは別問題なのである。その妥当性が明らかにされてこそ真の科学的知識といえる。

いろんな情報が提供され、それを手軽に入手して利用できる現代社会に生きる私たちが判断を誤らないために、情報を正確に評価し、何が正しくて、何が妥当なのかを見極める“真に科学的”な思考力が求められるのではないだろうか。本学の図書館も一教育機関の図書館として、そのような人材の育成に役立てればと願う次第である。

「日本人と英語」 —学科による図書紹介(国際英語学科編)

学芸学部国際英語学科教授

ふじ
藤 澤 良行
さわ よし ゆき



英米文学科から国際英語学科にモデルチェンジをしてそろそろ2年になろうとしています。国際英語学科の基本コンセプトは「英語力+日本発信力」、キー・フレーズは“English-it's MY language!”です。今の世界情勢において英語はもはや英語ネイティブスピーカーのためだけのものではない。この流れを踏まえて、ノンネイティブである日本人として我々が英語を使う側に回ることを中心に考えています。とはいえ、文法や発音を軽視するものではなく（この点では最近よく取り上げられるグロービッシュ(Globish)の考え方とは一線を画します）、あくまでもそれを押さえた上で、英語を使いこなせる状態にして、自分たちの想いを外に対して表明できる人材を育成したいと考えています。

今回は1、2年次のいわゆる基礎教育を終えた学生が専門の学びに入るにあたってぜひとも目を通してほしい図書を、「日本人と英語の関係」に絞っていくつか紹介させていただきます。

○鳥飼玖美子『国際共通語としての英語』 (講談社現代新書、2011年)

本の帯には、『通じる』英語を目指す！ネイティブ並みに話せなくてもいい、グローバル時代では自分らしい英語の発信を」と書かれています。このまま我々の学科のコンセプトにしてもよいと思うほどの説得力です。国際英語学科では、English Language Passport Program (ELPプログラム)を通して、一人ひとりの学生に目を配りつつ、全体として統合された英語教育を進めています。この考え方の基礎になったCEFR(ヨーロッパ共通言語参照枠)への言及も含まれています。たかが新書、されど新書。ここから出発したいと思います。

○大谷泰照『日本人にとって英語とは何か —異文化理解のあり方を問う』 (大修館書店、2007年)

明治時代から続く日本人の英語との格闘の歴史を「親英

語」と「反英語」の振り子の往復運動と捉えた評論です。現在ではどちらの方向に振れているのでしょうか。企業では英語重視の流れ（というかTOEIC重視と言ってもよい）が見受けられますが、雰囲気としての英語を捉える力はあるものの、学生の基礎的な英語運用能力は全体として低下の傾向を免れていません。英語を受容する側から英語を使用する側に回することは実は大変な努力を要することです。

同様な日本での英語の受容史としては、齋藤兆史『日本人と英語-もうひとつの英語百年史』(研究社、2007年)や江利川春雄『日本人は英語をどう学んできたか 英語教育の社会文化史』(研究社、2008年)も興味深いです。

○黒田龍之助『ぼくたちの英語』 (三修社、2009年)

ロシア語やスラブ語の専門家として幅広く言語学に関するエッセイを書いてきた著者が一時期とある大学で英語教師をしていたことはどれだけ知られているのでしょうか。教え子の英語教師(の卵)との対話を通じて、日本人と外国語の関係、日本人が英語を教え学ぶことについて、著者一流の軽いタッチで(しかし中身は重い)論じられています。

○水村美苗『日本語が亡びるとき 英語の世紀の中で』(筑摩書房、2008年)

ベストセラーになったこの本にここでわざわざ言及する必要もないかもしれませんが、長くアメリカで暮らしてきた小説家の日本語論でもあり、著者が「英語の世紀」と呼ぶ国際英語論でもあります。大きな示唆に富む一書です。

与謝野晶子没後70年に寄せて

短期大学部キャリアデザイン学科准教授

檀原 ^{だんばら} みすず

本学図書館では、特別コレクションとして「近代詩歌関係資料」、なかでも与謝野鉄幹・晶子の詩歌集初版本およびその関係資料を蒐集している。晶子は『みだれ髪』から『白桜集』まで一代の歌集・詩歌集のほか、評論、小説、童話、古典の現代語訳など、多方面にわたり数多くの著書を残している。本学では、そのほとんどが初版本によって閲覧できるようになっている。とくに初期のものは原本をたやすく目にすることができない希少価値の高いもので、所蔵している機関は少ない。

今年は、詩歌における浪漫主義の花を開かせた与謝野晶子の没後70年にあたり、本学図書館の貴重書の中から晶子に関連する代表作の一部を紹介したい。

『みだれ髪』

(明治34・8、東京新詩社、伊藤文友館)



短歌がまだ「和歌」とか「敷島の道」とよばれていた明治の半ば頃、大阪堺出身で二十三歳の鳳晶子が世に問うて話題となった処女歌集である。与謝野鉄幹との結婚直前だったため、初版本の署名は旧姓のままだが、三版からは「与謝野晶子」となっている。縦長の三六判変型本(短冊ふう)で装丁と挿絵は当時新進の洋画家だった藤島武二による。巻頭に「表紙画みだれ髪の輪郭は恋愛の矢のハートを射たるにて矢の根より吹き出でたる花は詩を意味せるなり」と

説明がある。構成は「臙脂紫」「蓮の花船」「白百合」「はたち妻」「舞姫」「春思」の部立てより成る。鉄幹と初対面以後、京都での再会を機に晶子の上京と結婚にいたる恋愛の体験を、官能的・夢想的に詠んでいる。〈やは肌のあつき血汐にふれも見でさびしからずや道を説く君〉の歌は有名だが、全399首のどの歌にも青春の溢れるような情熱が歌いこめられている。近代名歌集の髄一と評価されている。

『小扇』(明治37・1、金尾文淵堂)



晶子の第二歌集。造本は『みだれ髪』と同型で、同じく藤島武二が装丁と挿絵を手がけた。表紙に、扇子で顔を隠す女の大胆な図柄が描かれ、この意匠を詠んだと思われる歌〈われわかうてちさき扇のつまかぎにかくれて観たる恋のあめつち〉が再版本の扉に掲載されている。『みだれ髪』以後の一年半の歌259首を収める。この間に鉄幹と結婚、入籍し、長男光が誕生した。構成は「みじか夜」「笹舟」「夏ばな」など六つに部立てされ、〈われと歌をわれ

といのちを忌むに似たり恋の小車弦さらけに巻け〉の歌など浪漫的空想は奔放になっている。結婚生活に入った落ち着きと新たに始まった夫婦の軋轢を表わした歌なども詠まれている。

『毒草』(明治37・5、本郷書院)

鉄幹と晶子とはじめての合著による詩歌文集である。正方形の珍しい柙型本で、緑地の表紙に書名を図案化した並製と、紅色の表紙に女人図を紺押した特製とがある。ともに藤島武二が装丁と挿絵を担当し、彫刻は伊上純蔵の手になる。巻頭に「師落合直文先生の在天の御霊に捧げまつる」の献辞、上田敏と内海月丈の序、巻末に馬場孤蝶の跋文を掲載する。前年の明治36年に鉄幹は師落合直文を、晶子は父宗七を亡くして、それぞれの思いを込めた追悼歌を収めている。鉄幹の作品が大半だが、晶子も短歌77首の外に長詩、美文、俳句などを載せ、ジャンルの幅を広げた。〈かへりみれば君やおもひし身をやめでし恋は驕りに添ひて燃えし日〉など晶子調の華麗な歌が集められている。

『恋衣』（明治38・1、本郷書院）

与謝野晶子・山川登美子・増田雅子の「新詩社の三才媛」による合同詩歌集である。短冊型の体裁は『みだれ髪』『小扇』と似通った美しい装本で晶子初期の三部作とも見られる。表紙には孔雀と牡丹と女が描かれ、花の絵入りのカバーが付いている。装丁と挿絵は中沢弘光があたった。巻頭に「詩人薄田泣菫の君に捧げまつる」と献辞を掲げる。登美子「白百合」131首、雅子「みをつくし」113首に対し、晶子は「曙染」148首と詩6編を載せている。日露戦争のさ中、出征中の弟の安否を気づかった詩「君死にたまふこと勿れ」が収められている。〈海恋し潮の遠鳴りかぞへては少女となりし父母の家〉のような望郷の歌や、王朝趣味や唯美的傾向の強い歌も多く詠まれている。



『紫』（明治34・4、東京新詩社）



与謝野鉄幹の第四詩歌集である。菊半截判で、表紙が本文の判より大きな鼠色の羅紗紙に、藤島武二が菫花を朱で描き中央に紫と墨書し、背を紫のリボンで綴じた新奇な装丁である。310首の短歌と10編の新体詩が収められている。鉄幹が西下して晶子や登美子に会った明治三十三年八月以後の作品が多い。巻頭歌の

〈われ男の子意気の子名の子つるぎの子詩の子恋の子あおもだえの子〉は鉄幹の転身を詠ったもので、かつての壮士風な虎剣調から徐々に恋愛賛美の星菫調へ移行していく。「春思」「敗荷」など悲愁を漂わせた恋愛詩を収め、その浪漫的抒情は限りなく美しい。この『紫』と、四か月後に出る晶子の『みだれ髪』とによって近代浪漫短歌がスタートしたと言われている。

『片袖』（東京新詩社）

第一集（明治34・9）

第二集（明治34・12）

第三集（明治35・3）

与謝野鉄幹の編集で、東京新詩社発行の新体詩集である。毎月刊行を予定していたが実際は三か月の間隔をあけ、現存するのは三集までである。着物の袖をかたどった斬新な装丁で、表紙絵は三冊とも東京美術学校出身の新鋭、結城素明による。第一集は蒲原有明の「草薺」など5編と鉄幹の「武蔵野」など3編を収録する。鉄幹の詩からは東京渋谷に嫁いできた晶子のういういしい姿が髣髴する。第二集は平木白星の「日本国家」など3編と滝沢秋暁・横瀬夜雨の共作「花守のわかうど」、桑田春風「聴虫曲」、それに鉄幹の「夏草」など3編を収録し、雑誌「明星」の常連が登場している。特筆すべきは鉄幹が当時の『文壇照魔鏡』事件の匿名批判に対して「赤裸裸歌」をもって応酬したことである。第三集は平木白星のみで長編叙事詩「心中おさよ新七」のほか付録「図南の詩」を収めている。当初は寄稿予定者の中に鳳晶子の名も記されていたが、この三冊に晶子の作品は掲載されていない。『片袖』は、詩歌を絵画やデザインと融合させるという鉄幹の意向を反映し、新体詩の興隆の一つの契機となった。現在『片袖』の三集揃いはきわめて稀で、国内に数部を数えるのみである。



第一集

第二集

第三集

お染久松心中事件—図書館で調べる

学芸学部国際英語学科教授

さくま たかし
佐久間 貴士

禁断の恋—歌祭文を調べる

お染久松の心中は、江戸時代に大坂で実際に起こった事件である。お染は油屋の娘で一六歳、久松は油屋の丁稚で一九歳であった。当時は主人の娘と使用人が恋仲になることは許されなかった。お染の嫁入りが迫った正月、久松は覚悟の自殺をするために遺書を書いて油細工所に入った。久松がいないことに気づいたお染は、久松を見つけ、油細工所でかみそり自殺。久松は梁に帯をかけて後を追ったとされている。江戸時代は主人の娘との恋愛は不義とされ、禁断の恋であった

この事件は、歌祭文^{うたさいもん}で流布した。歌祭文は江戸時代の事件を一から二枚の紙に印刷して速報し、祭文語りにによって街中で謡われた。図書館で調べると『日本歌謡集成』に収録されていた。歌祭文は事件の半数が心中であるが、お染久松の心中は何度も続編が作られ評判を呼んだ。しかし歌祭文には発行年が記されていないのでいつの事件か、わからなかった。

評判になった歌舞伎—脚本を調べる

この心中事件は歌舞伎となり、『心中鬼門角^{きもんのかど}』と題して、大坂で上演された。『歌舞伎台本集成』を調べると、現存する最古の歌舞伎台本であることがわかった。原本は東京大学に一冊だけあり、貸本として発行されたものであった。

その後近松半二がこの心中事件を『新版歌祭文』として発表した。久松の出身地を河内の野崎（現大東市）とし、久松は暮れに里帰りし、正月に奉公先で自殺(心中)とした。『新版歌祭文』は純愛心中として評判となり、近松門左衛門の『曽根崎心中』と並んで、心中物の代表作になった。

心中事件の真相—日記を調べる

樟蔭の図書館には、歌舞伎の脚本集成が何種類もあるが、お染久松心中事件は宝永七年(1910)に起こったと解説されている。根拠は尾張徳川家で御畳奉行を勤めた朝日定右衛門の日記『鸚鵡籠中記^{おうむろうちゅうき}』である。『鸚鵡籠中記』は1968年に刊行された『続名古屋叢書』に収録されて樟蔭の図書館にある。

この日記を調べると、宝永七年三月二九日の条に「三右

衛門語りて云う。当春大坂にて心中。正月六日。板や橋南詰油屋の僕久松角前髪。主人の娘そめと主の油細工所にて心中刃死」とある。この記述は心中事件の年月日を示すものとして注目された。以後事件は宝永七年に起こったとされ、歌舞伎の辞典でもそうになっている。

宝永七年は歌舞伎『心中鬼門角』が大坂で初演された年であることが、歌舞伎の研究から明らかにされている。これまでの解説は、正月に心中後、すぐに歌舞伎化されたことになっている。そして歌祭文は、それをとりあげて記事にしたことになっている。

実はこれが大きな間違いなのである。

事件の真相 — 過去帳を調べる

お染と久松は、死後別々の寺に埋葬された。現在は『新版歌祭文』が好評だったので、久松の出身地とされた大東市の野崎観音に二人の墓がある。

実際の久松は豊中の浄行寺が実家で、この寺に過去帳が残っている。そこにはお染の名とともに「宝永四年(1707)亥年正月二八日の夜自害」と記されている。

『鸚鵡籠中記』の記事は、歌舞伎の上演のことである。下線部の「角前髪」(日記では小さく書かれている)は役者の髪型が元服前で、前髪があることを示している。日記は続けて4件の心中が記されている。そのひとつには二人の役者の名もある。この日記の記事は、大坂で心中物の歌舞伎(当時は狂言といった)が多かったと読むべきなのである。



たに 谷 さと み (国文学科キャラクター文芸専攻2年)

卒業生からの Message

国立国会図書館で働いて

いまだに

ひとみ

今谷 仁美

日本文化史学科2010年卒

私が日本文化史学科を卒業し、京都府精華町にある国立国会図書館関西館内にある複写受託センターで働くようになり、もうすぐ2年が過ぎようとしています。子供の頃から本を読むことが好きで、高校生の時に司書という仕事がある事を知り、司書課程のある樟蔭女子大学に入学したのですが、司書や司書教諭の資格を取得しても図書館などの希望する就職は難しく、半ば諦めかけていた時にキャリアセンターから卒業後の就職希望者にむけて配布された求人情報に『国会図書館』という文字を見つけ、応募したのがきっかけで今の職場で働くようになりました。

司書課程を履修している方はご存知かと思いますが、国立国会図書館は学校図書館や公共の図書館とは異なり、納本制度により、国内で出版されたすべての出版物を収集・保存をする唯一の図書館です。膨大な資料を収蔵しており、中でも関西館は直接来館出来ない遠隔地の利用者へのサービスとアジアに関連する日本語・外国語の資料収集に重点をおいています。その名の通り国が運営する図書館で、国会が立法の際に必要な資料の収集と分析、提供を行うサービスを第一に、国民への資料提供も重要な要素であるのですが、館内資料の個人への貸出しは一切出来なくなっています。国会図書館内には様々な部署があり、例えば資料の検索といったレファレンスを行う総合案内やマイクロ資料を読むための機械の案内をする係や貸付で申し込まれた資料を書庫から出してくる方など、多くの人を介して運営が行われています。

その中で私が働く複写受託センターは、調査研究に用いる資料のコピーを製品として、利用者の方に提供するというサービスを行っています。遠方の利用者にはインターネットを利用し、複写を申し込むことで、資料のコピーが郵送されるようになっています。他にも直接来館した利用者の方には即日複写やセルフ複写といったコピー依頼や、カウンターでの製品受け渡しなどを行っています。また、複写の依頼がある資料も様々で、論文などの本以外にも新聞、地図、パンフレット、マイクロ資料（フィッシュ、ロール、カード）等があります。保存されている資料の中にはページの破れてしまった破損本や、古い資料のために特殊なコ

ピー機を利用しないと複写出来ないような物もあり、毎日が貴重な本の取り扱いに緊張しながら、少しでも利用者の方に役立ててもらえるよう、複写にも様々な工夫と努力をしています。普段は図書館地下にある作業室での仕事となるので、来館利用者に複写製品を引渡す時以外は基本的に利用者の方に会うことはありません。ですが、カウンターやレファレンスといった表側の仕事だけでなく、こうした見えない場所での仕事が、実は一番利用者の方の身近な仕事である事を、実感させてくれました。

最後になりますが、国会図書館では書庫や地下作業室などを見学できるガイドツアーを実施しています。興味のある方や将来図書館で働きたいと思っている方はぜひ参加してみたいと思います。利用者の時では決して見れない、館内の仕事を見ることが出来るのでお勧めです。そして私自身、思わぬ所から目標としていた場所で働く事が叶いました。皆さんもどこにチャンスが転がっているかわかりません。多少の遠回りだとしても、とにかくいろんな事にチャレンジし、目標に向かって前進していった欲しいと思います。



つちや えりな
土屋 江里奈 (国文学科キャラクター文芸専攻2年)

学生図書 委員会

REPORT①

選んだ本が図書館に

学芸学部国文学科3年
学生図書委員リーダー

とうやま なお
當山 奈緒

選書ツアーって？

選書ツアーについて名前は聞いたことがあるとか、興味があるという人もいるかもしれません。しかし、どこで言えばいいの？誰でも参加できるの？と疑問に思っている人は多いと思います。私自身、選書ツアーについては名前だけは知っていたけれど、実際に参加したきっかけは、図書館のカウンターで司書の方に声をかけて頂いた事でした。参加して良かったこと苦労したことなど、生の声をこの場を借りて皆さんにお届けしたいと思います。

そもそも選書って何なの？

選書とは、それぞれの図書館の特性や利用者ニーズに合わせて本を選ぶ事をいいます。町の図書館であれば、市民の方が特に知りたいと思っている情報を中心に集めたり、その地域の歴史などが書かれた本を選んだりなどします。したがって大学図書館の場合だと、その大学にある学部・学科に関係する資料を中心に集めることになります。選書ツアーでは、それら以外に私達が読みたいと思う本を実際に手にとって選ぶ事ができます。

学生図書委員とは？

学生図書委員とは図書館へ学生の生の意見を届けたり、学生の目で学部・学科の専門分野を中心とした図書資料を選書することを役割としています。平成23年度から募集され、昨年6月から活動を始めています。最近では、学生図書委員の要望で小説やレポートを作成するのに役立つ本を何冊か購入して頂きました。また、図書館の活性化のためにどのような事をしたらいいかという私達が出した意見がダイレクトに形になることがあります。図書館の宣伝ポスターは、あまり学生が目にするところに貼られていない気がするという意見を出したら、図書館の方がポスターをロッカー室の掲示板に貼って下さいました。このように私たちの意見で図書館が動くのです。誰でも参加できます。興味が湧いた方は4月に募集があるので、学生図書委員にぜひ参加してみてください。



選書ツアーに関するQ&A

Q1 誰でも
申し込めるの？



A1

選書ツアーは樟蔭の学生であれば誰でも参加することができます。図書館のカウンターで申し込みます。実施日前、参加する学生は司書の方から選んでいい本と悪い本などの注意事項や、書店で選書した本をどのようにストックしておくかなどについて聞くことができます。

Q2 何冊くらい
選ぶの？



A2

一人が選ぶ冊数は大体20冊くらいです。書店で直接選書します。私は普段、好きな作家であったり表紙に惹かれて購入（いわゆる、ジャケ買い）したりという事も多いのですが、いつもなら選ばないような本を選ぶのは、思っていたよりも大変でした。それでも、テレビで紹介されていて興味があった本や、前から気になっていた本を、選んで持っていくという作業を小まめにしていたら20冊選ぶ事が出来ました。

Q3 どの書店で
選んでもいいの？



A3

選書ツアーはそれに参加する小阪・関屋のメンバーが一つの書店に集まって一斉に選書します。私が参加した回は、難波のジュンク堂でした。店内のパソコンで書名や著者名を調べて本が置いてある場所に行くこともできます。私は、自由に歩き回って選書したのですが、好きな作家のコーナーを発見したり、いつも利用する書店よりもたくさん本があってそれだけでも楽しめました。

Q4 どんな本を
選ぶの？



A4

なんでもいいという訳ではありませんが、話題になっている本や、図書館にあったらいいと思う本は選べます。ただ、タレントの写真集やすでに所蔵されている本の場合はその場で却下されます。



Q5 いつから
利用できるの？

A5

選書したものは図書館で再検討された後、購入されます。後日、通知が来るので、自分が選んだ本のうち何冊かにその本の見どころやお気に入りのシーンなどを書いたポップをつけます。絵を描いたりシールを貼ったり、好きな形に切ったりして楽しんで作成できました。

終わりに

選書ツアーについて紹介しましたが、皆さんの疑問は解消されましたか？

私は司書課程を履修していることもあり、もともと図書館が募集する活動には興味がありました。選書ツアーは、学部・学科に関係する本でないとおかしいかと思っていたので、軽い気持ちでは参加できませんでした。けれども実際には、図書館に入れてほしい本を選書ツアーでは選べるので、あまり難しく考えなくてもよかったかなと思います。

学生図書 委員会

REPORT②

恋愛がしたくなる本

心理学部発達教育心理学科3年
学生図書委員

たなか あゆみ
田 中 有由美

皆さんはどんな小説を読んだことがありますか？ひとくちに「小説」といっても、SF、推理小説、ホラーや歴史物、様々な作品があると思います。その中でも、学生の皆さんが最も関心が高い「恋愛」をテーマにしたものに焦点を当ててみたいと思います。

「小説の中の恋愛って所詮キレイ事じゃん。」そう思っている人や、「実際の恋愛がしたいんだ!」と思っている人。他にも、「恋愛なんてする気がない。」なんて考えている人にこそ読んでもらいたい作品がたくさんあります。その中でも私がおすすめしたい有川浩さんの3作品を紹介したいと思います。

まず『阪急電車』は映画化もされたことで知っている方も多いと思う作品ですが紹介したいと思います。

話の舞台は、その名の通り『阪急電車』の今津線が舞台となっています。このお話の中では、今津線の中の西宮北

口から宝塚までの各駅間で起きる“正しいゆきずりの在り方”が導く出来事をクスリと笑える面白さや、ほろりと泣ける切なさ、愛しさ、関西人の優しさが滲み出るように綴られた、オムニバス形式の短編小説です。ここで注目していただきたい点は、電車の中だけではなく駅や周辺地域までもストーリーに組み込まれていることです。

恋愛のお話については、たくさんの人たちが行き交う中で、恋愛問題への葛藤や悩みに踏み出せない一歩を踏み出すための勇気を与えてくれるお話になっています。まさに映画のサブタイトルにもなっている“片道15分の奇跡”そのままに、たくさん“ゆきずり”が生むさまざまな“奇跡”を目の当たりにするようなお話や「あるある」と思うような身近なお話がたくさん詰まっています。

偶然が引き合わせる恋愛の始まりや終わりを読んでみたいという人にぜひおすすめしたい作品です。そしてそんな方にはぜひ、『阪急電車』を片手に阪急電車を利用してみてほしいと思います。もしかすると自分の周りにある偶然の出会いが見つかるかもしれません。

もしも、小説から始めるのに抵抗がある方は、ぜひ映画を先に観てみてください。そして、小説『阪急電車』と出会っていただけたらと思います。

次に、小説が苦手!という方には『植物図鑑』をぜひおすすめしたいと思います。

タイトルからもわかるように、小説自体も草花(山菜)の季節に沿って春から夏、そして秋へと進むため、題材の花の季節を感じることもできるストーリーになっています。そして季節が進むにつれて主人公“さやか”の恋愛模様も大きく動いていくことになります。純愛物語を読んでみたい人やほのぼのとした“ローカルライフ”を疑似体験してみたい人に、きっと楽しめるのではないかなと思える作品です。





中でも、主人公の恋のお相手“イツキ”の天然の胸キュン発言に翻弄されるさやかと一緒にドキドキしたり、こんなこと言う人いるのかしらと考えてみたりと、恋愛物語においても楽しめる要素が多い作品でもあります。他にも、今まで食べられると知っていた草花（山菜）だけではなく、食べられないと思っていたような雑草がおいしい食材に早変わりする様子なども見どころのひとつだと思います。

そんな小説ですが、涙あり笑いあり、女の子ならわかる恋心も満載の恋愛小説です。また、巻末付録に作中のレシピが載っていたり、作中に出てくる草花（山菜）の写真がカラーで載っていたりする、普通(?)の恋愛小説です。

そして、出てくるレシピに「おいしそう」と思ったり、恋愛に「いいな」と思えるような気持ちになれば、さやかとイツキのように散歩に出かけてみてください。あなたにも新しい出会いが起きるかもしれません。

そして最後に恋愛がメインの小説はいや!という方におすすめの『図書館戦争』を紹介したいと思います。

この小説は、もしかすると近い将来の日本の姿なのでは……?と思わせるような“メディア良化法”という法律のある世界が舞台になっています。ありそうでない設定ということからSF小説とも分類されることがありますが、恋愛要素も多く含んでいます。

そして、この小説の一番の面白みは、「普通の」恋愛小説ではないことです。なぜなら、主人公の女の子は“体力バカの恋愛オンチ”なため、ギャグ部分が多いことからキャラクター同士のやり取りが面白く、くすりと笑える場面が多いことです。そのため、この1冊目の『図書館戦争』では恋愛話はそこまで重要視されていないからです。

そして違う目線から読み進めた後、もしも興味が湧いたなら、続編である『図書館内乱』、『図書館危機』、『図書館革命』へと読み進めていって欲しいと思います。

そして、『図書館戦争』からのストーリーの動きやキャラクターの心の動きなどから、新しい何かを感じていただければと思います。そして、「恋愛をしてみたい」と感じていただければ幸いです。



学生図書委員として、おすすめの詩を書いた絵本の展示を行いました。そのほかにもたくさんの展示などの企画を行っていきたいと思いますので、ご期待ください。





コラム

西日本から子どもたちへ 本を届けようネットワーク

児童学部児童学科講師 ^{かみむら} 神 ^{ともか} 村 朋 佳



3.11. 途切れることなく流れるニュース映像を見つめながら、本がたくさんいる、早く本を集めなくては、それだけを考えていた。何もかも失い、思い切り泣くことも笑うことも、体を動かすこともできず、真っ暗な避難所で過ごす子どもたちの姿が目につく。心を解き放つ時間と空間が必要だ。人との関わりのなかで心をほぐすために、日常をとりもどすために、ひととき現実を離れるために、本が必ず必要とされる。そう確信していた。



全容はつかみ切れないが、きわめて甚大な被害であることは間違いない。しばらくは流通も途絶える。どうすればいいのだろう。とにかく情報を収集しつつ、

頭の中でシミュレーションし続けた。ユニセフやJBBY（日本国際児童図書評議会）が動くはず、でも、それを待っていたら間に合わない、見切り発車して大丈夫だろうか、焦りと迷いが交錯するなか、「あなたが基盤を作ってくれたら絶対協力するから」という先達の一言が背中を押してくれた。

それからのことは、ほとんど記憶にない。子どもたちに心の糧となる本との出会いを。息の長い支援を。この思いを共有する方々とともに、3月31日にネットワークを始動。おはなしレストラン、おはなしの森（島根）、文庫もりのなか、篠山ストーリーテリングの会（兵庫）、学校読書ボランティア（京都・福知山）、ぐるんぱはうす（大阪・枚方）等々。私の思い描いた通り、西日本各地の仲間が手を結び、「西日本から」子どもたちに本を届ける活動が始まった。情報の収集と各拠点への提供、本の送り先の確保に追われながら、4月からは、学生とともに、学内、香芝、葛城周辺での本の収集をスタートさせた。

各地での活動は目覚ましく、信じられないほど多くの本、そして心と声が、各拠点に寄せられた。私たちが申し合わせたのは、知識と経験がある人を中心に、責任をもって選書するという一点のみ。だが、それには、一冊一冊を吟味し、対象年齢に分け、リストを作るといった膨大で煩雑な

作業をとめない、PTSDへの配慮など、気をつかうことも多い。その手間をいとわず、真摯に取り組む仲間と、本を寄せて下さった方々の熱い思いに、心打たれることのどれほど多かったことか。その結果、たった2か月の間に、宮城県のNPOへ約3600冊、教育・保育施設へ約1300冊の児童書、絵本を送ることができたのである。

同種の運動は、大きなうねりとなって全国に広がり、みるみるうちに終息していった。私のもとにも、ちゃんと届いているのか、本はもう不要ではないか、いつまで続けるのか、との懸念が内外から寄せられた。そこで私は、有志学生・卒業生4名とともに、6月下旬に仙台を訪れた。あれから3カ月。目に映る現実、想像を超えて凄まじかった。何かがあるのではない。あるべきものがない。その空虚を前に、懸念も迷いも吹き飛んだ。「本は全然足りません、まだまだ必要です」、「ボランティアより何より、この現実をしっかりと見て、持ち帰ってほしい」という現地スタッフの声を、あの光景を、私たちは胸に刻み込んだ。

その後、岩手県のNPOや小学校へ約600冊の本を送り出した。近々、大槌町へ約1000冊を送り、この活動も一区切りとなる。春には、仲間や学生とともに、大槌を訪れよう。そのあとのことは分からない。子どもに本を届けたい。だから、私たちは、また、各地で本を届け続けるだろう。未来にむかって、小さな種をまくように。

学園内外でご協力くださった皆様に心からの感謝を申し上げます。



仙台で本やおもちゃの仕分け作業
NPO現地スタッフとボランティアの記念写真

図書館この一年 2011年度

- 4月1日 ●ぶっくにゅうす100号発行
『水木しげるの妖怪事典』水木しげる 著
ぶっくにゅうす101号発行
『海の壁：三陸沿岸大津波』吉村 昭 著
- 4月1日～29日 ●展示 “私のすすめる一冊”
両キャンパス展示（前期後期で入替）
- 4月4日～11日 ●新入生図書館利用ガイダンス実施
対象：新入生全員
- 4月28日 ●第1回図書館委員会
於：小阪キャンパス図書館3階共同研究室
- 5月1日 ●ぶっくにゅうす102号発行
『『黄金の言葉』和歌篇』五月女肇志、土佐秀里、針原孝之、山崎正伸 編
ぶっくにゅうす103号発行
『縞模様のパジャマの少年』ジョン・ボイン作：千葉茂樹 訳
- 5月9日～31日 ●展示 “女子大生のためのハローワーク”
関屋キャンパス図書館
- 5月16日～6月4日 ●展示 “学校給食”
小阪キャンパス図書館
- 5月20日 ●私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会定期総会 於：桃山学院大学
- 5月31日～6月8日 ●アカデミックスキルズ実施
受講対象：学生 1回生
- 6月 ●学生図書委員会発足（小阪13名 関屋7名）
- 6月1日 ●ぶっくにゅうす104号発行
『インドカレー伝』リジー・コリンガム 著：東郷えりか 訳
ぶっくにゅうす105号発行
『ご当地ソング、風景百年史』溝尾良隆 著
- 6月2日 ●第2回図書館委員会
於：小阪キャンパス図書館3階共同研究室
- 6月6日～30日 ●展示 “絵本で世界を旅しよう！”
関屋キャンパス図書館
- 6月11日 ●第7回選書ツアー実施
於：ジュンク堂難波店（参加者：学生11名）
- 6月16日 ●Japan Knowledge フレンドシップセミナー
於：ラマダホテル大阪
- 6月20日～7月8日 ●展示 “世界遺産一日本編”
小阪キャンパス図書館
- 6月27日 ●私立大学図書館協会阪神地区相互利用担当者連絡会 於：関西国際大学
- 7月1日 ●ぶっくにゅうす106号発行
『アフリカによろり旅』青山潤 著
ぶっくにゅうす107号発行
『ウィリアム・モリスの庭』ジル・ハミルトン、ペニー・ハート、ジョン・シモンズ 著：鶴田静 訳
- 7月4日～9月23日 ●展示 “タイムカプセル1993～1995”
関屋キャンパス図書館
- 7月6日 ●データベースWGSN講習会
対象：被服学科（参加者：学生教職員201名）
- 7月7日 ●第3回図書館委員会
於：小阪キャンパス図書館3階共同研究室
- 7月11日～8月11日 ●展示 “第7回選書ツアー本”
両キャンパス（前期後期で入替）

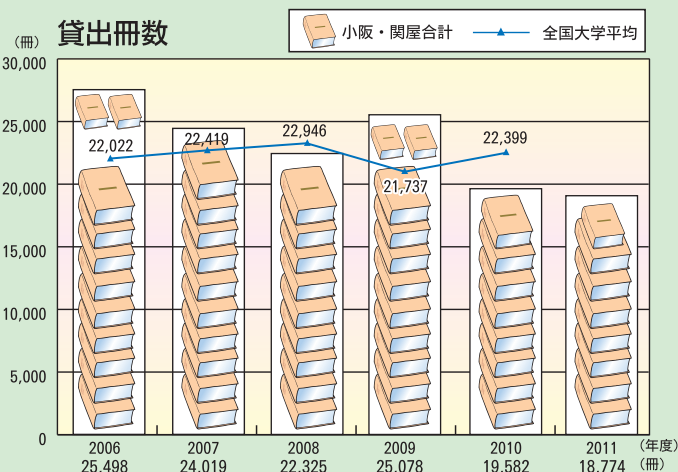
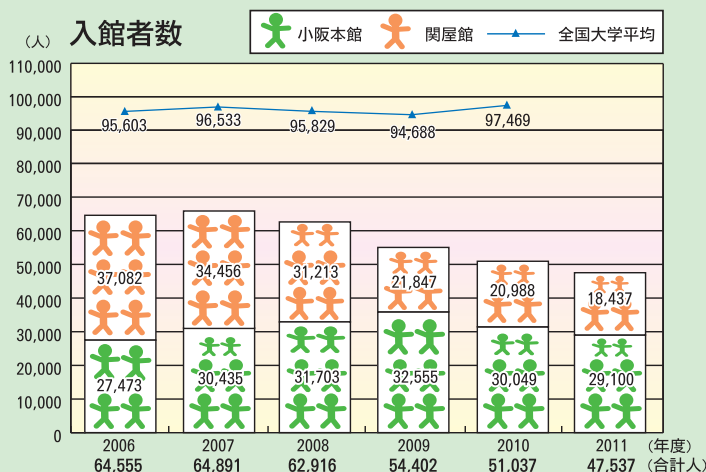
- 8月1日～22日 ●図書館貴重書展示 “洋（うみ）へ”
小阪キャンパス1階ホール
- 8月29日～9月23日 ●展示 “手稿展 筆癖が語る感動 国内編” 小阪キャンパス1階ホール
- 8月5日 ●私立大学図書館協会西地区部会 第1回阪神地区研究会 於：大阪女学院大学
- 9月1日～2日 ●私立大学図書館協会総会・研究大会
於：早稲田大学総合学術情報センター
- 9月14日 ●JUSTICE 版元提案説明会
於：関西大学100周年記念館
- 9月15日 ●私立大学図書館協会西地区部会 研究会
於：甲南大学
- 10月1日 ●ぶっくにゅうす108号発行
『学力世界を支えるフィンランドの図書館』西川 馨 編著
ぶっくにゅうす109号発行
『お伊勢まいり』矢野憲一[ほか] 著
- 10月3日～17日 ●児童学科 安部ゼミ展示
関屋キャンパス図書館
- 10月6日 ●第4回図書館委員会
於：小阪キャンパス図書館3階共同研究室
- 10月7日～11月5日 ●女子大生のためのハローワーク
小阪キャンパス図書館
- 10月13日～14日 ●全国図書館大会
於：東京 調布市 グリーンホールほか
- 10月15日 ●第8回選書ツアー実施
於：ジュンク堂難波店（参加者：学生6名）
- 10月20日～11月17日 ●展示 “兎” 関屋キャンパス図書館
- 11月1日 ●ぶっくにゅうす110号発行
『フーコー』リディア・アリックス・フィリンガム 著：栗原仁、慎改康之 編訳
ぶっくにゅうす111号発行
『おー、うんこ』松下美砂子 著
- 11月14日～12月26日 ●展示 “第8回選書ツアー本”
両キャンパス（前期後期で入替）
- 11月21日～12月24日 ●クリスマス2011
関屋キャンパス図書館
- 12月1日 ●ぶっくにゅうす112号発行
『KANSAI大学博物館ガイド』大坪 覚 著
ぶっくにゅうす113号発行
『西洋絵画のひみつ』藤原えりみ 著：いとう瞳 イラスト
- 12月5日～24日 ●クリスマス2011 小阪キャンパス図書館
- 12月14日 ●私立大学図書館協会阪神地区相互利用担当者連絡会 於：関西国際大学
- 1月6日 ●ぶっくにゅうす114号発行
『おとぎ話の幻想挿絵』海野弘解説・監修
ぶっくにゅうす115号発行
『扇の文化』高橋貴 著
- 1月10日～2月6日 ●展示 “龍” 小阪キャンパス図書館
- 1月6日～2月6日 ●展示 “2011年のできごと”
関屋キャンパス図書館
- 2月2日 ●第5回図書館委員会
於：小阪キャンパス図書館3階共同研究室
- 2月20日 ●私立大学図書館協会西地区部会 第2回阪神地区研究会 於：桃山学院大学

LIBRARY DATA

2011年度 図書館統計

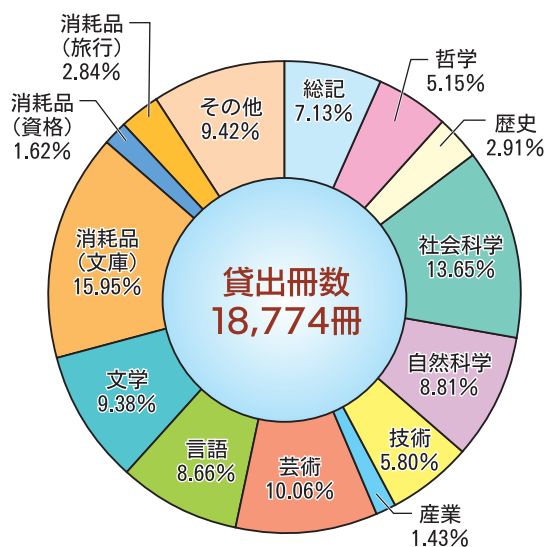
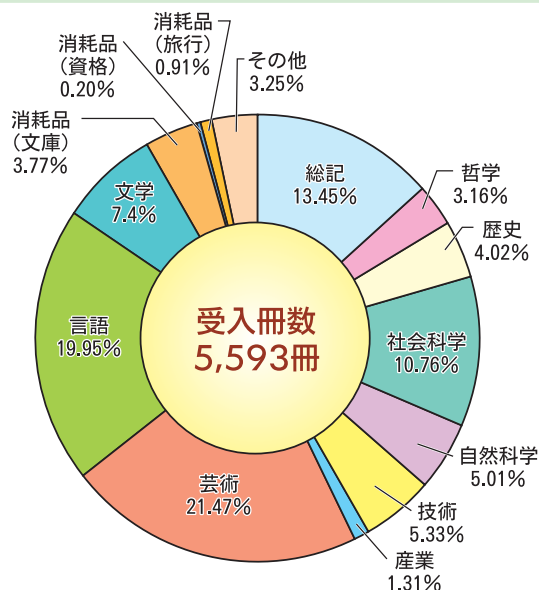
年度推移

(入館者数・貸出冊数は2011年4月から2012年2月28日までの合計)



個人貸出が昨年度より3.5%減少し、これに比例して、学生一人当たり貸出冊数も5.0冊（昨年度5.2冊）に留まりました。入館者数は、小阪本館がほぼ昨年並み、関屋館が1割減少しました。なお、小阪本館入館ゲートの集計によると、入館者数の内訳で、学部学生89.2%（23,094人）の次に、生徒3.4%（872人、中高生）が続きました。ただし、生徒の貸出冊数は80余冊であるため、施設利用が中心と見られます。

分野別



受入傾向は、昨年度との比較で消耗品図書の割合が半減し、芸術が3倍、言語が2倍に割合を増やしています。購入資料（4,121冊）では、言語が語学学習用テキストの受入により増加し（10%→27%）、消耗品図書その他が減少しました（19%→8%）。貸出冊数では、文学と消耗品図書（文庫、旅行）が大幅に減少した一方で、社会科学・技術・言語では10%以上増加しました。冊数の月別割合はほぼ昨年度並みでした。

ベストリーダー 2011

順位	書名	著者名
1	阪急電車	有川浩 著
2	ぐりとぐら（こどものとも傑作集）	なかがわりえこ 著 おおむらゆりこ 絵
3	子どもと学校（岩波新書 新赤版）	河合隼雄 著
4	社会的ジレンマのしくみ： 「自分1人ぐらいの心理」の招くもの （セクション社会心理学）	山岸俊男 著
5	重力ピエロ（新潮文庫）	伊坂幸太郎 著
5	イラスト・カット集事典	たまご企画 編
5	作ってあげたい彼ごはん 3（e-mook）	Shiori 著
8	20代にしておきたい17のこと （だいわ文庫）	本田健 著
8	インシテミル（文春文庫）	米澤穂信 著
9	狼に育てられた子：カマラとアマラの 養育日記（野生児の記録）	J.A.L. シング 著 中野善達、清水知子 訳
10	告白	湊かなえ 著

2011年4月から2012年1月までの貸出人数に基づいたランキングです。

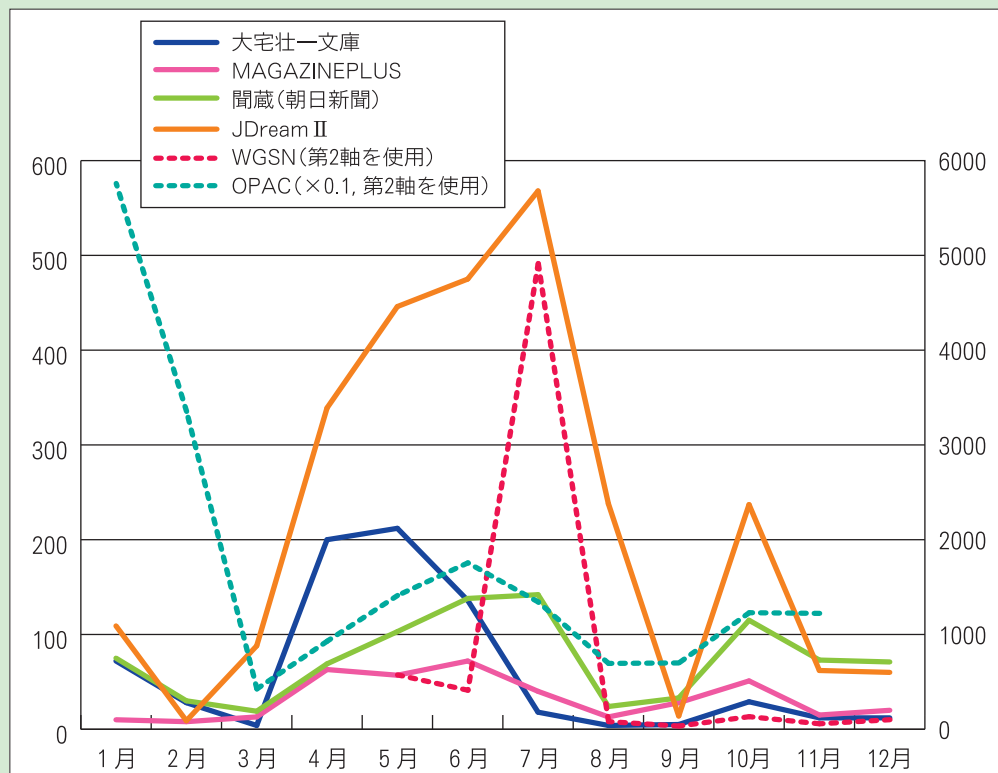


有名な臨床心理学者である著者が日本型の初等教育の在り方を問うた一冊。著者は「猫だまし」など児童書関係の著作も多く、文化庁長官も務めた。



月給ではなく時給が十一万二千円のアールバイト。十二人の仕事は、殺し合いだった。二〇〇七年に発行され二〇一〇年映画化されたミステリー小説。

2011年 データベース利用統計



	大宅壮一文庫	MAGAZINE PLUS	聞蔵(朝日新聞)
1月	72	10	75
2月	28	8	30
3月	4	13	19
4月	200	63	69
5月	212	57	103
6月	136	72	138
7月	18	40	142
8月	4	13	24
9月	5	28	33
10月	29	51	115
11月	12	15	73
12月	12	20	71

	JDream II	WGSN	OPAC
1月	109	—	58,072
2月	9	—	34,026
3月	88	—	4,748
4月	339	—	9,781
5月	446	622	14,600
6月	475	460	18,043
7月	568	4,963	13,911
8月	238	129	7,431
9月	14	82	7,488
10月	237	181	12,786
11月	62	106	12,713
12月	60	149	13,740

『大宅壮一文庫』雑誌記事索引検索「MAGAZINEPLUS」は一般誌、「JDream II」は医学・化学分野の雑誌記事情報、「聞蔵IIビジュアル」は朝日新聞、「WGSN」はファッション関係記事の本文データベースです。OPACは当館資料の検索システムです。(最初の2者はログイン回数、その他は検索回数)

学生図書委員会ができました。

図書館事務長 原 野 雅 一 はらの・まさかず

図書館は「学生目線の図書館」に根幹を置き、従来の各種サービスの見直しや新規サービスの提供など、様々な取り組みを行っていきたいと思っています。

そんな思いから学生目線の新しい図書館作りにおける学生の参加を推進しており、23年度から「学生図書委員会」が発足しました。

設置の目的は学生がこの委員会を通して図書館運営・協働することにより、図書館活動の一端を担うことで図書・図書館への関心を高め、学生の読書推進及び利用促進を図ることです。この委員会の主な活動は、図書（専門分野）の選定、イベント（展示、読書会）等の企画提案、図書館への要望及び図書館広報活動への協力などです。これらの活動は図書館がバックアップしていますので、この学生図書委員を中心として、読書推進活動を企画提案してくれることを願っております。

24年度も学生図書委員を募集しますのでご応募お待ちしております。

はばたけ、知性。



編集後記

本号から「こかげ」は電子版だけになりました。これまで印刷して全学生・教職員に配布していたのですが、経費節減です。本年度は学生図書委員ができましたので、これまで公募や依頼で書いてもらっていた学生のページを、図書委員が自由に作成することにしました。表紙と裏表紙の写真は写真部、イラストは国文学科キャラクター文芸コースの学生さんに協力していただきました。ありがとうございました。（佐久間 記）



大阪樟蔭女子大学図書館報 こかげ 第6号

発行日 2012年3月31日

編集 大阪樟蔭女子大学図書館報編集委員会

発行 大阪樟蔭女子大学図書館

小阪本館 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 TEL.06(6723)8182 FAX.06(6723)8387

関屋館 奈良県香芝市関屋958 TEL.0745(71)3158 FAX.0745(71)3148

ホームページ <http://library.osaka-shoin.ac.jp/>

「どこ見てるの？」

撮影 写真部 しも かわ あり さ
下川 有 砂